

令和7（2025）年度

学生インターン
協働型課題解決ワークショップ

課題一覧

【課題番号 1・大田区】

大田区の認知度・知名度向上のためのSNS情報発信

課題と背景	<p>羽田空港を擁する地元自治体であるが、認知度・知名度が低く、国内外の羽田空港利用者の多くが大田区内を回遊せず、スルーして都心や地方の観光地に行ってしまう傾向がある。SNS（特にインスタグラム）の発信を強化することで、大田区の魅力に気づいてもらい、区内回遊者を増やしていきたい。</p> <p>観光協会として、さまざまな事業・イベントを行っているが、参加者はアクティブシニア世代が多く、若者世代を取り込めていない現状がある。若年層にも興味を持ってもらえる事業展開を行ってきたい。</p> <p>観光協会として、大田区公式キャラクター「はねぴょん」を使ったグッズの制作・販売を行うことで、自主財源の確保と「はねぴょん」ファンの増加を目指しているが、潜在的なニーズの把握が難しく、商品開発や広報に苦慮している。ニーズを的確に捉えた（もしくは掘り起こす）商品開発・広報を行うことで、自主財源と「はねぴょん」ファンの増加を図ってきたい。</p>
ワークショップに期待すること	<p>SNSを使い慣れている学生世代に、若者の視点から若年層に興味をもってもらえるような情報発信を期待しています。</p> <p>同じく、若者ならではの感性から、若年層が参加したくなる事業の企画や、思わず購入したくなるような商品開発・広報手段を提案していただきたいです。</p>
実施に当たり提供可能な資料	ホームページ、SNS（インスタグラム、X、Facebook）、事業計画書、各種刊行物
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能
その他実施に当たっての希望	都内エリアの学校希望、観光関連学部以外の提案も可能

一般社団法人大田観光協会

所在地：大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ2階（京急蒲田駅徒歩3分／JR・東急蒲田駅東口徒歩13分） URL：https://o-2.jp

体制：9名（事務局長＋職員7名＋非常勤1名）

主な事業：広報事業（HP&SNS、パンフレット発行、大田区学検定）／回遊促進事業（イベント運営、出展、ボランティアガイド支援）／産業観光事業（オープンファクトリー他）／広域連携事業／はねぴょんグッズ／会員連携事業ほか

【ひと言PR】：大田区って羽田空港以外に何かあるのかな？と思いますよね。大田区は東京23区で一番面積が大きい分、魅力もたくさんあります。大田区が初めましての方も、ご存じの方も、宝探しのように魅力を見つけていただいて、一緒に発信していただけたらと思います。

【課題番号2-①・北区】

【2-②・北区】

【2-③・北区】

北区花火大会の運営に関する課題解決

課題と背景

※観光財団からの
コメント



※3つの課題があります。1つのゼミを3班に分けて分担する方式が理想ですので、10~15名以上の規模のゼミを前提としますが、少人数ゼミの場合や、或いは専門分野の関係で、課題の一部を希望する場合は、ご相談下さい。

課題2-① : 川口側のプロモーション強化（フリーライダーを防ぐプロモーション）

北区花火会は、毎年秋に実施され北区荒川河川敷にて実施している。昨年（第11回）は、有料・無料合わせて約55,000人が来場した。人混み対策の観点から、来場者をコントロールしつつ効果的なプロモーションを行うことが課題となっている。特に、無料観覧を目的とするフリーライダーを防ぎ、有料席の購入を促す仕組みづくりが求められている。昨年（第11回）は初めて川口側に座席を設置し、新たな観覧エリアとして展開を行った。しかし、設定された4,000席のうち、実際に販売できたのは約2,000席にとどまり、目標には届かなかった。本年度は座席数を大幅に増加し、10,000席の設置を予定しているが、芝生席を埋めるためのさらなる施策が必要である。そのため、学生インターンには、「集客を増やす」のではなく、「有料席の利用を促進する」プロモーション戦略を検討・実施してもらおう。北区花火会実行委員会と協力しながら進めていく。

課題2-② : 川口側の運営と満足度を高める人の導線設計

北区花火会は、人流データを使って人の導線や座席設計などの活用している。川口側の運営においても「どのように人の流れを整理し、安全かつ快適に誘導するか」という視点が重要である。特に、駅から座席エリアまでの導線設計（来場から着席までのスムーズな動線づくり）といった課題に対し、学生インターンには、駅から実際の会場を見ながら「どこに人の滞留が発生しやすいか」「どのような改善策が考えられるか」を検討し、具体的なプランを提案する役割を担ってもらおう。これにより、来場者の満足度を向上させるだけでなく、運営側の負担軽減や安全対策の強化にもつながる。

課題2-③ : 学生ボランティア統括

北区花火会では、運営に多数のボランティアスタッフを必要とする。昨年は学生含め600人のボランティアが参加した。しかし、通常の学園祭や一般的なイベントボランティアとは異なり、大規模なイベント運営の視点が求められ、適切な役割分担、明確な指示系統、シフト管理の徹底が不可欠である。学生インターンには、ボランティアの募集・選考・研修を含めた統括を担ってもらおう。特に、事前研修の充実化、責任者の配置、ボランティア間の情報共有ツールの活用などを通じ、スムーズな運営を目指す。また、学祭とは異なり、地域住民や来場者に対するホスピタリティを重視した対応が求められるため、研修プログラムの充実化を検討する。

【課題番号2-①・北区】

【2-②・北区】

【2-③・北区】

北区花火大会の運営に関する課題解決

ワークショップに期待すること	課題2-① 「集客」ではなく「有料席の販売促進」に重点を置いたプロモーションの立案と実施 課題2-② 人の流れを考慮した運営プランの提案と現場での改善活動 課題2-③ ボランティアの管理・運営の効率化を図る施策の提案と実践
実施に当たり提供可能な資料	①過去の花火大会の来場者データ、販売実績データ ②昨年度のプロモーション活動とその結果報告書 ③SNS・広告運用データ（インサイト情報）④ボランティア運営マニュアル、研修資料 ⑤北区花火会に関する人流データ
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能 打合せ頻度：月2回を基本とし、必要に応じて追加対応可 対応しやすい時期：6月～9月の間で柔軟に対応 (9月27日(土)は参加必須)
その他実施に当たっての希望	打合せ場所：北区赤羽イノベーションサイト観光協会イベントスペース（JR赤羽駅徒歩3分） 希望するゼミの専門分野： ・マーケティング（デジタルマーケティング、広告戦略） ・観光学（観光プロモーション） ・経営学（イベント運営、組織管理） ・広報・メディア（SNS運用、デザイン）

一般社団法人 東京北区観光協会

北区観光協会は、『北区の新しい価値をイノベティブに創造する』ミッションに、観光×まちづくり×パブリックリレーションズ×公民連携を推進しています。北区の観光・歴史・文化資源の活用による地域活性化、観光DXの推進、地域のプレイヤーの育成、観光産業の持続可能な成長を目指し、以下の事業を展開しています。

- ①北区観光プロモーション事業
- ②地域イベントの支援・実施（飛鳥山でのイベント、インバウンドツアー等）
- ③文化財活用事業（歴史的建造物の保存と観光資源化）
- ④日本酒「飛栄」ほか飛鳥山酵母を使った商品開発とブランディング
- ⑤インバウンド誘致（外国人観光客向けプラン策定）
- ⑥観光・まちづくりマーケティング・DX推進

【ひと言PR】： 北区花火会のさらなる発展に向け、観光×まちづくり×マーケティングの視点を活かした新たな試みを実施します！学生の皆さんの柔軟な発想と行動力を活かし、イベントの成功にご協力よろしくお願いたします。学生の皆さんにとっても、貴重な経験となることと想われます。

【課題番号 3・八王子市】 新たな観光モデルコースの発掘・開発

課題と背景

当協会では、現在八王子の魅力を発信する観光モデルコースをWebサイトで紹介しているが、定番の観光スポットに偏りがちであり、特に若年層ニーズに届いていないという課題を抱えている。若年層の発想力と行動力をお借りし、若者ならではの視点で八王子の新たな魅力を発見・発信するモデルコースを開発してもらいたい。

【新たな観光スポットの発掘・開発】 既存の観光資源にとらわれず、若者ならではの視点で、八王子の隠れた魅力を発掘し、新たな観光スポットを開発。

【5つの新たなモデルコースの作成】 開発した観光スポットを組み込み、エリア別・観光目的別など若者に刺さる魅力的な5つのモデルコースの作成。5つのコースの内、1つは高尾山を入れてほしい。持続可能な高尾観光まちづくり事業で決定した高尾山ブランディング「近くて、たのしい、日本遺産。高尾山」をテーマに、楽しさが感じられるモデルコースの内容で企画をお願いしたい。

【施設への利用許可・撮影交渉】 モデルコースに組み込む施設への利用許可や撮影交渉など必要な手続き。

【モデルの手配・撮影】 モデルコースの魅力を最大限に伝えるためにモデルは若者を起用して撮影を行う。

【魅力的な紹介文の作成】 モデルコースの魅力を分かりやすく、楽しそう、行ってみたいと思える紹介文作成。

最終的に、出来上がったモデルコースは、協会の公式サイト「観光情報サイト いこうよ八王子・高尾山」内にあるモデルコースページに掲載。Webへの掲載作業は協会が担当する。

ワークショップに期待すること

学生の皆さんには、既存の観光ルートにとらわれず、自分自身が行ってみたいと思えるようなモデルコースを作成してください。地域の魅力を再発見し、新たな視点で組み合わせることで、若者に刺さる魅力的な旅の提案を楽しみにしています。また、情報収集・分析能力・創造性・プレゼンテーション能力を磨き、チームで協力して最高の成果になることを期待しています。

実施に当たり提供可能な資料

協会公式サイト内でモデルコースを紹介しているページを参考にご覧ください。
<https://www.hkc.or.jp/course/> その他、観光スポットについての情報や資料などの提供は可能。

実施希望期間

オリエンテーションについては、8月以降でお願いします。活動についてはゼミの予定に合わせて自由に設定可能。

公益社団法人 八王子観光コンベンション協会

(公社) 八王子観光コンベンション協会公式
観光情報サイト「いこうよ八王子・高尾山」
<https://www.hkc.or.jp/>

【ひと言PR】 令和6年度の協会サイトで最高PV数は201,504PV。公式Instagram「いこうよ高尾山 (@go_to_takaosan)」はフォロワー1.1万人、「八王子の観光情報 (@hachiojivisit)」はフォロワー5,000人。皆さんの作ったモデルコースは、多くの人に八王子・高尾山の魅力を届けることが出来るので、ぜひチャレンジして欲しいです。

【課題番号 4・昭島市】

「みずまちあきしま」プロジェクトを活用した認知度向上

課題と背景	※「みずまちあきしま」プロジェクトとは... 当協会では、2024年度にプロボノ人材を活用して、昭島市が「水の街」として認知されることを目指して活動してきた。その中で、来街者に深層地下水100%の「あきしまの水」と市内JR4駅の給水スポットについてアンケートを行ったところ、認知度は3割程度であった。今後、市外に向けてブランディングを行い、「あきしまの水」の認知度をアップさせるとともに「昭島市」自体もPRしていくプロジェクト。 (例) ・「みずまちあきしま」プロジェクト×ロケツアー実施 ・「みずまちあきしま」プロジェクト×飲食店マップ作成 など
ワークショップに期待すること	現在、社会人プロボノによるブランディング（「みずまちあきしま」プロジェクト）の取り組み中です。そのブランドの認知度向上のために具体的なプランを策定し、実行と検証をしてください。
実施に当たり提供可能な資料	昭島についての調査や分析は、2024年度に実施した協働型課題解決ワークショップにおいて、東洋大学、立教大学のゼミが作成した資料があります。
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能
その他実施に当たっての希望	○調査や分析は短期間で終わらせて、すばやくPDCAに取り組んでください。 ○提案で終わるのではなく、課題解決に向けて何頭実施して検証を行っていただきたい。 ○現地に来た際は、当会事務所や案内所に寄っていただき、直接コミュニケーションをとる機会を多く作ってください。 ○2023年度から開催している会員交流会にて、中間発表をしていただきます。会員交流会では、市民である会員様の意見を聞くことができます。 ○できれば、近隣の大学と協働したいと考えています。

一般社団法人昭島観光まちづくり協会

当会は、昭島の良さをより多くの方々を知っていただくための活動を行うことにより、この地域が更に元気で活力ある「まち」となることを目指しています。市や商工会を始め、市内の各団体・企業と連携し、合同の事業も行っています。

HPのURL <https://akishima-kanko.org/> Instagram <https://www.instagram.com/akishimakanko/?hl=ja>

主な事業 ①あきしま町あるきの開催（月1回） ②観光案内所の運営 ③昭島ロケーションサービスによるロケの誘致 ④写真募集イベントの開催 ④ワークショップの開催（年数回）
⑤あきしま郷土芸能まつり（毎年5月）の主管

【ひと言PR】 事務局は少人数で運営しているため、企画から決定まで、常に迅速に事業を実施しています。予算の問題もあり、費用的に大がかりなものは実施できませんが、マンパワーと企画内容の良さで実現できるものは、積極的に取り組んでいます。

【課題番号 5・小平市】

観光を切り口とした、若年層への小平というまちの魅力浸透

課題と背景	小平に住んでいる若年層にまちの魅力を知ってもらうために、協会では観光資源を利用した布石を打ちたいと思っている。5年・10年・20年先を見据えた持続可能な観光を作り出すために、ターゲットを小中高生にしぼり、世代の近い大学生の協力を得て効果的な認知・浸透活動を行っていきたいと考える。
ワークショップに期待すること	ゼミの皆さんには小平のまちの事をレクチャーするので、よく勉強してもらいたい。 その上で、例として下記のような活動を期待する。 <ul style="list-style-type: none">・子どもや若者が関心を持ちそうなまち歩きツアーを作る・学校単位で使える、学域内観光マップを作成する。・世代の近い大学生から小中高生に向けて小平の話をしてもらったり、ヒアリングする機会を作る。・更には、小中高の先生にもヒアリングする。 など...学生ならではの目線でアイデアを出して実践して欲しい。 小中高生へのアPOINTは協会主導で行う。
実施に当たり提供可能な資料	参考数値： 小学校児童数 10,756人 中学校児童数 4,852人 高校生徒数 5,828人
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能

一般社団法人こだいら観光まちづくり協会

ホームページ info@kodaira-tourism.com
職員体制 6名

小平の特徴（小平にあるもの）

まち巡り、ライトアップ、灯りまつり、ブルーベリー栽培発祥の地、丸ポスト全国一の保有数、コダレンジャー、オープンガーデン

【ひと言PR】

住みやすいまち小平

- ・フラットな地形
- ・災害等に強いまち（河川、がけ地が無い）
- ・都内で花粉の量が一番少ない

【課題番号 6-①・式根島】

SNSを活用した情報発信

【課題番号 6-②・式根島】

島内アンケート調査と集計・考察

課題と背景

※観光財団からの
コメント



※2つの課題があります。1つのゼミを2班に分けて分担する方式が理想ですので、10名以上の規模のゼミを前提としますが、少人数ゼミの場合や、或いは専門分野の関係で、課題の一部を希望する場合は、ご相談下さい

課題6-①： SNSを活用した情報発信

式根島観光協会が抱える課題は情報発信能力不足で、直接調べに来るツールとしてのホームページは、伊豆諸島最大規模の閲覧数があるが、こちら側から発信するSNSとなるとFacebook以外は極端にフォロー・閲覧数が落ちる。特にYouTubeやTikTokなどの動画を使った宣伝力が弱い。SNSを使った通常の投稿は出来ても動画を編集する技術が乏しく、SNSが得意な職員も少ない。写真ばかりの投稿になりがちで今後飽きられてしまう可能性が高いことが課題。サムネイルも作ることが出来れば、式根島に興味を持っていただける方が増えると思うが、作り方が分からない。私たちがいつも撮影しているのは「風景・猫・海など」が中心で、動画配信を見る世代への的確な動画を提供できていない。電話・メールでの問い合わせの多くは、より具体的なイメージを聞かれるため、こちらが発信している情報では足りていないと感じる。

課題6-②： 島内アンケート調査と集計・考察

式根島観光協会では、アンケート調査を定期的におこなっているが、なかなか本音の部分や核心的な部分など聞きたいアンケート調査（例えば、年間の売上、年間の稼働率等の経営の根幹部分など）が実施できていない。特に繁忙期には業務多忙や人手不足の要因もあり、アンケート調査が出来ず、また、アンケート調査を行ったことはあっても、取りまとめたり、使いこなすことが出来ていない。

ワークショップに期待すること

課題6-①

- ①YouTubeやTikTokを配信したい（船の切符の買い方、温泉施設の入場の仕方、商店・飲食店の動画など）
- ②問い合わせが減るような動画を作成して欲しい（電話対応・メール対応を少しでも減らしたい）
- ③配信する動画を作成したり編集して欲しい
- ④編集技術なども教えて欲しい。

課題6-②

- ①数が多くて大変だが、島内の事業者に調査に聞きまわって欲しい
（会員様53軒→宿32軒、商店4軒、飲食店5軒、お土産屋2軒、レンタカー屋2軒、その他8軒）
- ②本音や困りごとを聞き出して欲しい
- ③アンケート結果を整理して欲しい
- ④結果を分析し、島の発展のために一緒に考えて欲しい。

【課題番号 6-①・式根島】

SNSを活用した情報発信

【課題番号 6-②・式根島】

島内アンケート調査と集計・考察

実施に当たり提供可能な資料	式根島観光協会が毎年まとめた資料（Web SNS実態調査票）がございますので、こちらをご覧くださいと式根島の現状等がわかります。 式根島観光協会ホームページ https://shikinejima.tokyo/blog/news/3902/
実施希望期間	ゼミの提案により調整可能
その他実施に当たっ ての希望	対応しやすい時期は、10月～2月までの閑散期です。 出来る限りタイミングを合わせたいと考えております。 アンケート調査の内容次第では、繁忙期（夏休み）なども検討しております。

一般社団法人 式根島観光協会

概要 = 式根島観光協会は、式根島の観光全般のPRや案内窓口をメインとし、式根島の島づくりやオリジナルグッズなどを販売しています。他にも様々な業務があり、式根島のなんでも屋さんです。URL = <https://shikinejima.tokyo/> 体制 = 職員4名（正職1名、フルタイム1名、パート3名） 主な事業 = 観光PR、観光案内業務、ガイド業務、SNS等配信、連絡船にしき委託業務、新中央航空委託業務、島内外イベント、オリジナルグッズ製造販売、その他事業多数あります。

【ひと言PR】 式根島には、中学校までしかなく高校生や大学生の貴重な意見が本当に少ないため、ぜひこの機会に貴重なご意見や島づくりを一緒におこなっていただける方と一緒にしたいです。→式根島は、伊豆諸島の中で唯一戦前から温泉がありました（地鉾温泉・足付温泉）※式根島以外は、戦後掘り出した温泉です。また、東京諸島（大島～母島まで）の中で、一番小さな島ですが、チャレンジアイランドと名を打ち、様々なことにチャレンジしている島です。例 謎解きクエスト（有料版と無料版）、ジオキャッシュ、電気自動車、電子マネーの利用が約9割近くなど